

① 広報のまちがわ



登別地区の良い子が安全パレード

10 月号

No. 120

交通安全パレードで 事故防止を呼びかけ

町内より交通事故をなくそうと登別地区の子ども会が、交通安全啓発パレードをおこないました。

9月28日午前10時、登別保育所前には、色とりどりの三角帽子をかぶり、「交通安全をなくして明るい街をつくりましょう。」と書いたプラカードやタスキをつけた子ども会の良い子やその父兄約250名が集り、日大高校と地元中学校のブラスバンドを先頭に市中パレードがおこなわれました。

とくにこの日は、日頃子どもが感じていること（安全運転や正しい歩行など）を標語にしてプラカードに書き、街頭に並んだ住民に、交通安全の啓発を呼びかけました。

ごみ捨て場の移設

社会委員会報告を了承

第三回定例議会

第三回定例議会は、九月二十五日、二十六日の両日開かれ、一般会計補正など十五議案をはじめ報告、意見、協議案が原案どおり可決、了承しましたが、このうち四十三年度水道事業会計決算の認定と教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例、職員の退職手当の支給に関する条例については、今後なお慎重な審議が必要のため総務委員会に附託して継続審議することになりました。

二日間の審議された内容について、おもなものを取りあげてみます。

社会委員会結果報告

第二回定例議会で附託となっていたじん芥処理について、東条委員長より報告あり、焼却炉建設は財政などを考慮して、四十六年度以降に検討し、また焼却炉建設までのごみ捨て場は、町の発展により環境衛生上適当な場所になくなったので、早急に他の場所に変更されたいとの報告があつて、議会で承認しました。

一般会計 五三、五三四千円追加

一般会計の補正は、歳入歳出それぞれ 五三、五三四千円を追加し総額一三億一九、〇八千円とな

りました。

補正のおもなものは、警別旧墓地路線防護柵設置費 一、一二〇千円、海草類開発事業補助金一、一〇〇千円、町営登別温泉スキー場造成費 一、六〇〇千円、カルルス路線改良工事費 二、〇六〇千円、排水路新設工事（来馬西、東地区、富浦地区、警別鉄道添、登別地区、上鷲別地区、鉄南第四工区ほか）三、〇〇〇千円、消防ポンプ自動車購入費 二、八〇〇千円、防火水槽安全対策工事費五〇〇千円、各学校危険箇所改修費および放送施設費 一、〇五〇千円。

水道事業会計補正

◇収益的収支
収入支出三三二、二二〇千円を追加し、それぞれ一億〇六、四七三、三〇〇千円となりました。

◇資本的収入および支出
収入は、七、九八〇千円を追加して総額六七九、八〇〇千円。支出は八二八、〇〇〇千円を追加して総額七七、〇二〇千円となりました。

富浜児童館条例

十一月中に完成する富浜児童館の使用範囲は①児童および児童の団体、②児童の健全な目的とした会合であると使用できます。

その他町長が必要と認めたものも使用できますが、使用料は次の表のとおりです。

使用料金

室名	面積	区分	時間区分			
			9~12時	13~17時	18~22時	9~22時
1号室	82.1㎡	使用料	500円	600円	650円	1,600円
		暖房料	150円	200円	200円	500円
2号室	20.0㎡	使用料	200円	300円	400円	800円
		暖房料	100円	150円	150円	300円

収入役の選任

十月十日をもって任期満了となつた収入役に、再び八十嶋武雄氏を選任することに同意しました。

教育委員会委員の任命

九月三十日任期満了に伴い、辞任した柳沼高杉教育長の後任に、山下文雄氏を任命することに同意しました。

公平委員会委員の選任

十月二十五日任期満了となる中林豊次委員が、再び選任することに同意しました。

登別温泉に駐車場新設

現在の公共駐車場では、急増する車輛の駐車不可能なため、新たな駐車場を登別温泉に新設するよう協議案で提案されました。これによると、今年から三カ年計画で二万平方メートルの敷地面積をトベカ式アスファルトで舗装し、大小三五〇台が収容できる駐車場をつくるよう議会で了承しました。

工事請負契約を締結

次の工事請負契約の締結が議会で可決されました。

◇登別小学校増築工事
請負金額 三千八百七十八万円

竣工 四十四年十二月二十日

◇幌別小学校分校新設工事
請負金額 四千七百七十六万八千円

竣工 四十五年二月二十八日

一般質問

町政について三名の議員から一般質問が活発におこなわれ町長より回答されました。

主な内容は次のとおりです。

問 清掃事業特別会計を廃止し、一般会計として取りあつかうべきだと思ふが考えかたはどうか。

答 適当な時期をみて一般会計の中に繰入れるよう検討したい。

問 幌別中学校の改築について、父兄、PTAから陳情されているようだが、現在、就学生徒も増えており改築の時期はいつか。

答 ことしは幌小分教、登別小、鷲中の新築および増築をおこなっている。幌中についても建設するよう検討中であり、できるだけ早い機会に結論を出して実現したい。

問 児童手当制度を実施する考えはないか。

答 近い将来国会で法律化されると思う。実現されるときは、その時点で町として考えていきたい。

問 老人、若人の建設と敬老年金の引上をどう考えているか。

答 広域的な立場から考えなければならぬので、建設については充分検討したい。敬老年金の引上げは、まだ考へていない制度だけに、まだ考へていない。

問 北方領土返還問題に対する基本的態度を示せ。

答 歴史的にも日本の領土と考えており、全道民の願いでもあるので、返還運動は充分必要であり、幅広い国民運動として、胆振支庁の運動趣旨に協力して進めていきたい。

問 今後の老人福祉対策を充分考へなければならぬが、目標を示せ。

答 老人福祉の目標は、①老人の精神福祉（敬老年金の支給あるいは、集団化するため幌別に静和園をつくらう。今後各各地にこのような老人クラブを建設したい）、②老人の肉體福祉（ホームヘルパーや保健婦を増し血液と脳の検査を実施するなど巡回健康診断を実施したい）、③老人の経済福祉（総合的に老人の福祉年金を強化して、経済を図りたい）以上の三つを柱として老人の福祉向上に努力したい。

町の機構改革と人事異動

経済部を新設

町では、機構改革とこれに伴う人事異動を、去る十月一日おこないました。

この機構改革で、部では開発部を建設部と経済部に分け、いままでの四部を五部に、課では、社会福祉課と土木課の二課を増設し、また教育委員会次長制を廃止して総務課と社会教育課にして十六課一室になりました。

異動後の係長以上の職員は次のとおりです。()内は旧職名、または旧職名のないものは、異動のない職員です。

総務部

総務部長 中浜元三郎(開発部長)
庶務課長 工藤英二(管理課総務係長)
庶務係長 三好文彬(理財係)
文書係長 大島林造(交通安全係長)
職員係長 石田信(観光係長)
企画課長 秋本慧(企画係長)
企画係長 岩倉正明(調査広報係長)
調査広報係長 小林剛(調査広報係長)
財政課長 佐藤作太郎(都市計画課長)
理財係長 菊地征(用地係長)
島村周治(税務課長)
伊藤元二郎(税務係長)
玉手信行(資産税係長)
山地主美(職員係長)
収納係長 千葉勲

民生部

民生部長 後藤四郎(財政課長)
住民課長 西尾和久(観光商工課長)
窓口係長 佐々木勇司(住民係長)
住民係長 萩原礼二(商工係長)
交通安全係長 上原登志雄(土木係)
国民健康保険係長 阿部憲
国民年金係長 久保光国

社会福祉課長 大家保治(住民課長)
福祉係長 高見真盛(生活相談員)
社会係長 吉田義雄(衛生課長)
吉田精一(議事事務局員)
予防衛生係長 佐々木功(環境衛生係長)
山田修(国民健康保険係)

建設部

建設部長 星野達也(水道課長)
主任技師 田上善治(建設課長)
管理課長 宮本秀雄(消防次長)
管理係長 千葉一義(農業委員会職員)
用地係長 中野文雄(管理係長)
土木課長 渡部千二夫(計画係長)
土木係長 鈴木博美、
失業対策係長 緑重雄、建築課長
富山永治(建築主任技師)、建築係長
石川仁司、住宅係長 稲葉一郎(農林係長)
都市計画課長 江州栄三(区画整理係長)
計画係長 洞口三郎(用地係長)
区画整理係長 気田遊一(区画整理係)

経済部

経済部長 大笹繁(民生部長)
農水産課長 阿曾幸作(農林係長)
小川三昭(土地改良係)
水産係長 伊奈耕三(農林係)
土地改良係長 政田政雄(観光商工課長)
倉西力(企画調査課長)
観光係長 前田仁(庶務係長)
商工労政係長 片山金治(国民年金係)

部に属さないもの

会計室長(収入役事務取扱)、審査係長 阿部道夫、出納係長 小野要三郎、行政経営近代化推進本部企画担当主任 伊達裕、マシソン

システム担当主任 高橋俊一、衛生センター長 前川敏雄(衛生課長)
オロフレ荘支配人 亀岡昭二、家畜診療所長 高橋二男、観光会館管理者兼登別温泉支所長 川本幸雄、鷲別支所長 林仙一、登別支所長 小柴恭次

議会

事務局長 大直直市(庶務課長)
庶務係長 猪股隆士(生活相談員)
議事係長 志賀征夫(議事事務局職員)

農業委員会

事務局長 進藤七郎

選挙管理委員会

事務局長 藤田勝美

教育委員会

教育長 山下文雄(総務部長)
総務課長 関藤輝雄(教育次長)
庶務係長 青山薫(総務係長)
学事係長 長沼進(学校教育係長)
給食センター長 柳谷弘志(失業対策係)
社会教育課長 由利実(社会教育主事)
社会教育係長 瀬宏(収納係)
体育青少年係長 伊藤晴一(区画整理係)

消防本部

消防長 小野寺勇、消防署長兼消防次長 片岡義市(会計課長)
総務係長 中田幹雄、消防係長 小西直輔、予防係長 山下賢三

水道部

水道部長 (助役兼務)、水道課長 野村仁司(管理課長)、業務係長 岡田竜登、計画係長 浪花彰(工務係)、工務係長 山下ノ吉

教育長退任のあいさつ——柳沼高杉

当町の教育行政については、いろいろ懸案事項が山積している中で、三十九年四月登別町にお世話になりましたが、私の微力により満足する仕事もできず今日までまいったわけで、町民のみなさんに申しわけなく深くお詫びいたします。



退任した柳沼高杉氏

その点、このたび感覚も鋭く、教員生活の経験もあって、実に申し分のない山下新教育長さんをお迎え頂きて、安心して職を退くことができずことは、大変ありがたく感謝いたしております。今後は、山積された教育行政面あるいは市政施行で、ますます発展する登別町のため、過去においてわたしにお寄せいただきましたものを新教育長さんにお与え下さいますようお願いいたします。長い間、お世話になりました。誠にありがとうございます。

就任のあいさつ——山下文雄



就任した山下文雄氏

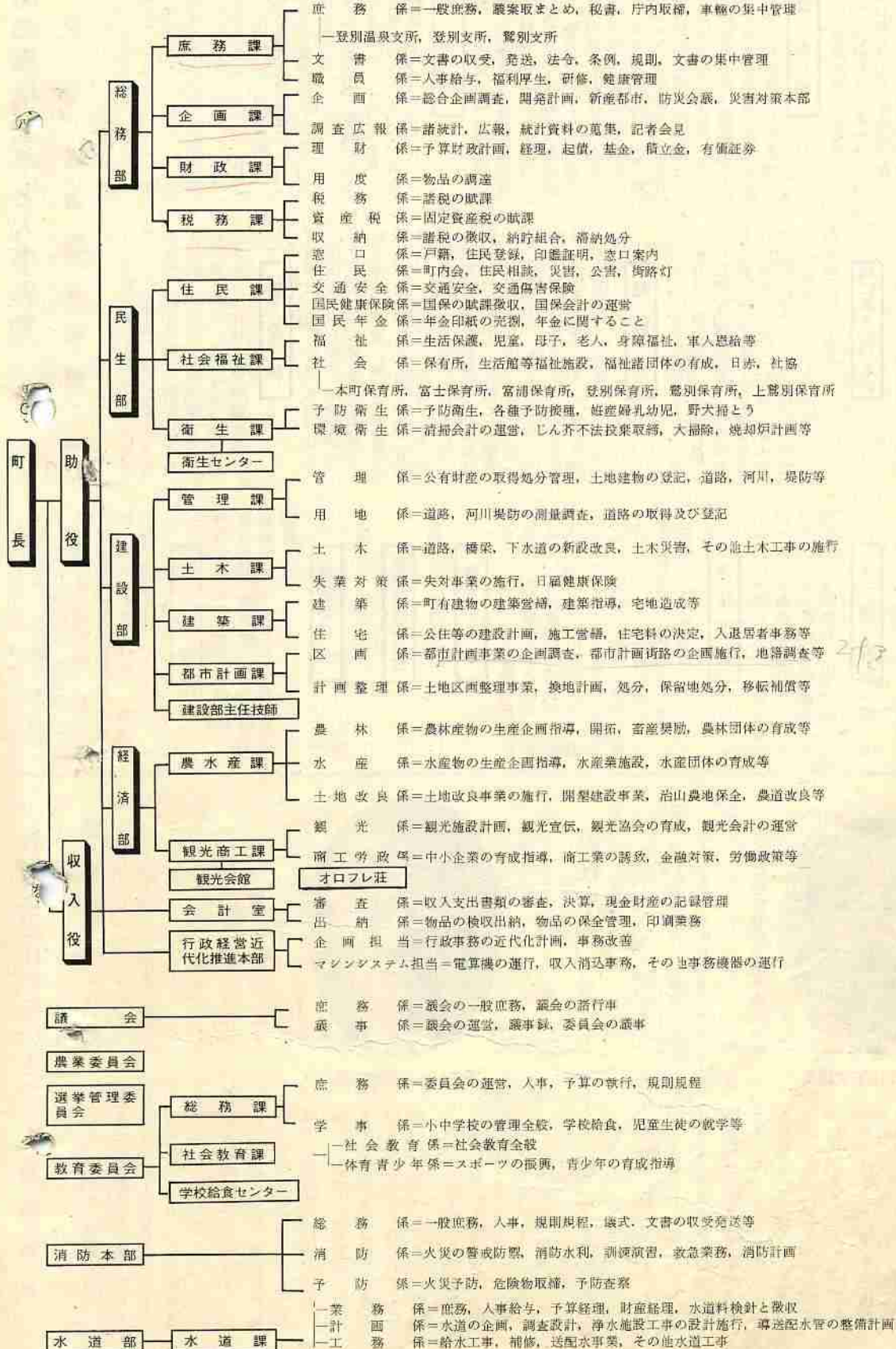
このたび町長さんのご推選により、議会の同意をいただき、光栄の限りであり心から感激しております。

教育長さんの足元にもおよびませんが、いまここに二世紀をふみ躍進を続ける当町の教育の振興と行政の問題解決に、若さと熱意と努力でもってみなさんのご推挙にお答えしたいと考えています。

山下文雄

いたらない点もあるか存じますが、今後とも町民のみなさんの深いご指導ご支援を心からお願ひして、ごあいさつにかえさせていただきます。

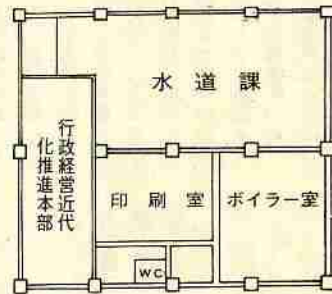
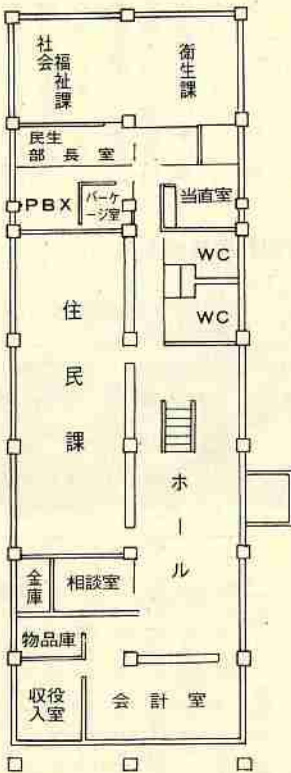
町の機構と職務



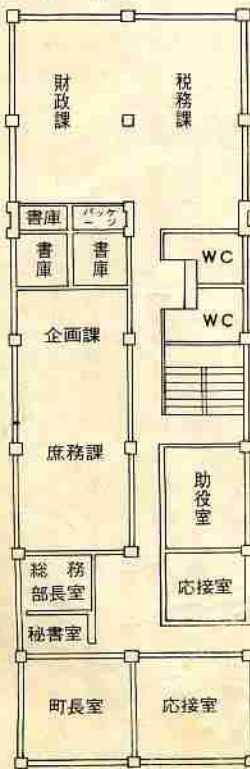
役場庁内の配置

このたびの機構改革により、役場庁内の配置が次のとおりとなりました。
なお、教育委員会は、中央公民館1階にうつりました。

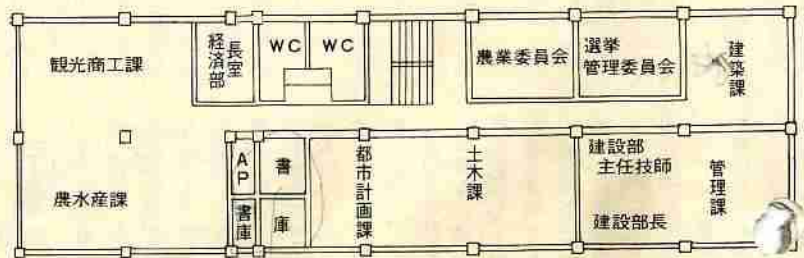
1 階



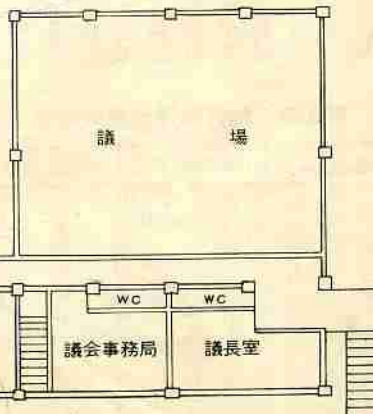
2 階



3 階



議 場



昭和六十年のビジョン

登別町総合開発計画から

先月号は、運輸通信計画の道路、通信施設の将来方向と諸施策についてお知らせしましたが、今月は、供給処理施設の「上水道」「電力」「下水道」の将来計画がどうなっているかをお知らせします。

上水道

当町の昭和六十年における市街地人口は、六二、〇〇〇人と推計され、上水道の整備は、この市街地人口を対象とするほか、当町発展の基幹となる工業振興、観光動向とも考え合わせて総合的な整備拡充をおこなう必要がある。

① 給水普及率の想定

一般に給水普及率は、十年後に五〇〜七〇割、二十年後に七〇〜九〇割と想定するのが普通であるが、当町においては、すでに八〇割強の普及率があることから目標年次（昭和六十年）における市街地人口六二、〇〇〇人に対しては、一〇〇割、総人口に対しては約九五割の給水普及率を見込む。

② 地域別計画給水人口

計画給水人口は、第一表の通り合計で六九、三〇〇人となる。また登別温泉地区に対する観光入込客数は、計画人口には含まず、一

(7)

第1表 地区別計画給水人口

区 分	将 来 人 口		計画給水人口
	地区総人口	市街地人口	
幌 別 地 区	36,500人	31,000人	34,700人
登 別 地 区	9,500	8,100	9,000
登 別 温 泉 地 区	5,100	4,300	4,800
鷺 別 地 区	21,900	18,600	20,800
計	73,000	62,000	69,300

人当たり給水量で調整する。カルルス地区については別途整備する

③ 一人一日当たり給水量の想定

都市規模に比例して給水量も増大する傾向がある。一人一日当たり平均給水量は、幌別上水道一七三リ、鷺別簡易水道一四三リをそれぞれ二〇〇リとし、登別温泉上水道のうち登別温泉地区については入込客数の増加を見込んで四〇〇リとする。

平均給水量と最大給水量の比率は、現況で幌別上水道、鷺別上水道は一・二倍、登別上水道は約二倍となっている。目標年次

（昭和六〇年）における比率は、現況と大差ないものとみて、登別温泉地区については二倍、その他地区は一・二五倍として、一人一日最大給水量は、鷺別、幌別、登別地区は二五〇リ、登別温泉地区は八〇〇リとする。

④ 計画給水量の算出

計画給水人口および一人一日最大給水量から地区別の計画給水量は、鷺別地区五、二〇〇リ、幌別地区八、六七五リ、登別地区二、二五〇リ、登別温泉地区三、八四〇リ、計一九、九六五リとなる。取水可能量として約三五、〇〇〇リあるので、水量は十分である。

工業用水については、現況の主要企業の使用状況は、約一〇、八〇〇リ/日である。また、新規立地の企業に対してもかなり余裕がある。

⑤ 給水系統

給水系統は、幌別上水道、登別温泉上水道、鷺別簡易水道の三水系を連結した一系統とし、主要道路に埋設した配水管により各戸に給水する。

また、室蘭市上水道系統から分水される約二〇、〇〇〇リ/日分に対しては、浄水で分水されるので、浄水場の必要はないが、配水池の設置が必要である。

電力

本町の将来の電力需要は、人口の増加、産業構造の高度化、施設

設備の近代化、住民生活の質的な向上などに伴って、ますます増大することが予想される。

将来の需要増に対し、安定した電力供給をはかるために、既設変電所の機能強化、送電線の昇圧化さらに配電線の地下ケーブル化を促進する。

これは、都市美の形成の上からも重要であり、下水道、電話線とともに共同溝による設置を促進する。

下水道

下水道は近代都市に不可欠の要素であり、その整備程度は、都市生活の快適度を評価する基準ともなりうる。将来において、各種通信機能、送配電機能などの地下埋設も促進され、これらと総合的な計画をすすめることが望まれる

本町の下水道整備の方向としては、既設都市下水道、道路側溝を整備拡充し、雨水は、道路側溝から都市下水路を利用して排水する。汚水は、公共下水道、終末処理場を新設して処理する。

① 排水区域および計画対象人口

集水面積、各市街地ごとに排水区域を設定し、市街地人口を対象とする。

② 雨水量の算定

雨水排水施設の容量決定のため各地区別に試算すると、鷺別地区は一秒間一・七リ、幌別地区は二五・三リ、登別地区は一〇・

八リ、登別温泉地区は四・二リとなる。

本町は、北海道においても有数の多雨地帯である。施設計画に当っては、以上の試算値をもとに容量決定する。

③ 汚水量の算定

汚水量は一般に上水使用量と同程度に排出されるので、一人一日最大汚水量は、登別温泉地区八〇〇リ、その他の地区二五〇リとしさらにピークどきの時間最大汚水量を一人一日最大汚水量の一・五倍として算定する。

地区別汚水量は第二表のとおりです。

第2表 地区別汚水量の算定

地区名	1日最大汚水量 m ³ /日	時間最大汚水量 m ³ /sec
鷺 別	4,650	0.08
幌 別	7,750	0.14
登 別	2,025	0.04
登別温泉	3,440	0.06
計	17,865	0.32

④ 排水経路

雨水は都市下水路を経て、所定の河川へ放流する。汚水は主要街路に埋設された管渠により、終末処理場へき所定の河川へ放流する。

交通安全

町民運動推進委員会開会

去る九月四日、中央公民館において、登別町交通安全町民運動推進委員会改組総会が開かれました。この委員会は、昭和三十七年から交通道德の向上と交通事故防止のため、町民運動として展開してきましたが、悲惨な

交通事故は相変わらず多く発生し、その犠牲者も数多くでており、大きな社会的不安を与えています。そこで、この悲惨な交通事故をなくし、明るい登別町を建設しようとして、今までの委員会を実践団体の推進母体として強化し、各関係機関と一致協力して、町民運動を展開することになりました。

この総会では、規約の一部改正と町民運動実施要領、交通安全指導員および奉仕員の設置要領、交通違反通報員設置要領、四十四年度交通安全事業計画などを審議し決定したあと、役員が改選が行われました。

新役員は次のとおりです。

会長 高田忠雄（町長）
副会長 三浦守治（交通安全協会長）
理事 白川寛義（白菊幼稚園長）
安村礼（幌別小学校長）、木下忠芳（幌別中学校長）、阿部清（幌

別警察官派出所長）、武田清次（幌別青年友の会長）、高田武子（幌別婦人団体連絡協議会長）、志賀三郎（鉄南連合町内会長）、近藤一（日通幌別営業所長）、松江光雄（幌別駅長）、休場春雄（ホーイスカウト同委員長）、山岡克巳（登別第九町内会長）、宮城隆（登別第五町内会長）、木村正夫（新和会々々）、伊藤博（曙町町内会長）、浜富造（安全協会理事）、岩間義三（安全協会副会長）、齊貞重（富士鉄社員）、大寺常隆（登別温泉第三町内会長）、須賀武雄（登別温泉連合町内会長）、植村清藏（警別連合町内会長）、遠藤幸治（自営業社長）、内田利春（上鶯別西町内会長）、大川英行（安全協会警別地区理事）、宮永栄一

（室蘭自動車学校長）、古川常三郎（富浦町内会長）、島崎誠之（道南バス温泉営業所長）、阿部敏行（自衛隊司令）、岩井勲（安全協会温泉支部長）、常盤幸男（安全協会登別支部長）、中谷繁一（安全協会幌別支部長）、大岩昌生（安全協会警別支部長）
監事 工藤重信（室蘭ハイヤー幌別）、須藤善作（登別第十町内会長）

追放しよう

交通事故三悪を

交通違反の中で、とくに悪質なものに「無免許運転」「酒酔い運転」「スピード違反」があります。この三つを交通三悪と呼びますが、きびしい取り締りや指導をよそに、いぜんとしてこの違反が多く、また交通事故の大きな原因にもなっています。

昨年一区内で、無免許運転で二万九千九百七十七人、酒酔い運転で九千四百五十二人、スピード違反で九万三千三百二十二人が検挙されています。交通三悪の事故は重大事故が多く、一つの事故で二人三人も死者がでたという事例がたぐさんあります。

交通三悪は絶対やらないようにまたやらせないようお互に心がけましょう。



各地区の子ども会が
交通事故防止を呼びかけ

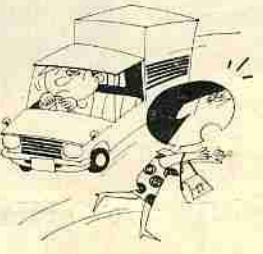
◇幌別・来馬地区
9月23日、中央公民館前に幌別、来馬地区の子ども会から約100名が集り、交通事故防止運動が行なわれました。午前9時30分より開会式を行なったあと、交通事故でなくなった友だちの霊を慰める安全祈願祭が行なわれ、なくなった会友に黙とうをしたあと「安全の願ひ」のカードをゴム風船につけ、大空に一齐にはなし、今後犠牲者を出さないようちがいました。

このあと交通量の多い十字街などカ所で街頭安全指導をし「横断歩道を必ず渡りましょう」と歩行者の交通安全の徹底を呼びかけました。

◇鶯別地区
9月23日午後6時、鶯別地区子ども会約50名が小学校に集り、パレード初の試みとして、あんどんパレードが行なわれ、小学校から主要道路をパレードしたあと、交通事故をなくそうと書いた大小約40個のとうろう流しが鶯別川で行なわれました。

(大空へ一斉にはなした安全の願ひ)

事故防止は一人一人の自覚がたいせつ



- 香川 清志 (〃)
- 高島 秀勝 (〃)
- 東川 要吉 (〃)
- 松高 忠雄 (〃)
- 新堀 重安 (〃)
- 加藤 富男 (〃)
- 坂下 利夫 (北栄建材)
- 鎌田 利勝 (〃)
- 橋場 正 (道南バス)
- 大岩 昌生 (大岩医院)
- 中谷 繁一 (中谷組)
- 大岩 良一 (室蘭職業訓練所)
- 木原 孝一 (自営業)
- 大橋 保政 (〃)

十年以上の無事故優良運転者として、次のかたがたが道警札幌方面本部長表彰と北海道交通安全協会二十一年表彰

森 隆 (町役場)

◇道警札幌方面本部長十年表彰
笹井 達雄 (町消防署)
小西 吉郎 (〃)
小林 忠雄 (登別交通)

18名が
優良運転者表彰

表彰されたかたは次のとおりです。

公民館において、町交通安全協会（会長三浦守治氏）より表彰されました。

プロパンガスを安全に使いましょう

最近、プロパンガスの爆発事故が多発しており、そのほとんどは取扱の不注意により起きています。このプロパンガスは、正しくは液化石油ガス（LPGガス）といわれ、常温で、約六〜七 atmospheres の圧力をかけると液体になる性質があります。この液体になったガスを容器（ボンベ）につめて販売して、ボンベの中の液体ガスは、ボンベの弁を開くと液体の表面からガス体になり、圧力が非常に高いので、圧力調整器を通して圧力を下げ、燃焼器（ガスコンロ）などで使用する仕組みになっております。プロパンガスは、空気より重く熱量（カロリー）が非常に高いため、漏れたガスに引火し、爆発的に燃焼して火傷を負うことがあります。爆発による爆風などで窓や戸、天井などが飛ばされ、被害が広がり非常に危険です。

- ② ボンベ（一〇〇リットル以上のもの）は戸外の直射日光のあたらないところに置き、倒れないようにすること。
- ③ 調整器や安全弁には、絶対に手をふれないこと。
- ④ 必ず金属配管にし、ゴムホースは屋外〇・三層以下、屋内二層以下にとどめること。
- ⑤ ゴムホースは良質のものを使い、両端はしっかり差しこみ、必ずホースバンドで締めること。
- ⑥ プロパンガスが燃えるには空気が必要で、コンロ等の空気孔は十分に開くこと。
- ⑦ 締め切った室でストーブなどを使用する時は、時々換気すること。
- ⑧ 使用後は器具のコックだけだけでなく、中間コックも締めること。
- ⑨ ガスもれの点検は、火気を遠ざ

特に、密べいした場所、たとえば鉄筋コンクリート造りのアパートなどは、ひどい爆発によってコンクリートにひびが入るようなことがあります。また、ガス自体に毒性はありませんが、燃焼するに空気が多く必要なため、燃焼中に空気が不足して火が消えたり、不完全燃焼によって一酸化炭素中毒になった例があります。プロパンガスを安全に使用するため、以上のような性質をよく理解し、次の心得をよく守りましょう。① つねに臭いなどでガ、もれに注意すること。

お知らせ

予防接種

種痘、ジフテリア、生ワクチンの予防接種を次の日程で行います。

該当者は次のかたがたです。もれなく接種して下さい。

該 および料金

◇種痘一生後2ヵ月以上の未接種者、小中学校への入進学者（30円）

◇ジフテリア—小中学校への入進学者（30円）

◇生ワクチン—11生後3ヵ月から18ヵ月に至る期間の者、回イが終了後6週間以上経過した者

日程

場 所	月 日		時 間
	生ワクチン	種痘、ジフテリア	
ひまわり園 鶯別公民館	11月11日	11月25日	13.00~13.30
	ク	ク	14.00~15.00
幌別生活館	11月12日	11月28日	13.00~14.30
	11月18日	12月2日	
堀尾 医院	11月14日	11月26日	13.00~15.00
登民会	11月13日	11月27日	14.30~15.00
温泉 支所	ク	ク	14.30~15.00

郵便番号全国版を無料配布

このたび郵政省では、44年度版郵便番号全国版を各家庭に無料で配布することになりました。

配布は、10月中旬に完了するよう町内の郵便局で行なっていますが、配布もれのご家庭や会社官公庁において不足のときは、郵便局に申し出願います。また、町内の郵便局にも備え付けてありますので、おいでのときはご自由にお持ち下さい。

なお、郵便番号記入にご協力くださいようお願いいたします。

- け、石けん水で行うこと。
- ⑩ ガスもれ時の三原則
 - ・ただちに火気を遠ざける。
 - ・元栓、コックを全部締める。
 - ・販売店に連絡する。
- ⑪ 容器の取替え、器具の修理は、販売店で責任をもってもらおうこと。

美 挙

- 長沢良英（来馬） 二、〇〇〇円
- 扇原まり子（室蘭） 一五、〇〇〇円
- 宮川朝司（来馬） 二、〇〇〇円
- 登別高校生徒会 四、三六九円
- 幌別料飲店組合 五、〇〇〇円
- 三好秀一（幌別） 一、〇〇〇円
- 国分恒次（来馬） 〇〇〇円
- 匿名 三件 二、三〇〇円
- コーヒーパルイ 九九九円
- 柳沼高彰（札幌市） 一〇〇、〇〇〇円
- （育英会へ）



パレードで献血を呼びかけ

パレードで
愛の献血よびかけ

愛の血液助け合い運動期間の一環として、九月二十日献血パレードが行われました。このパレードには、登別大谷高校、ブラスバンドを先頭に、町献血推進協議会の役員をはじめ各職場、婦人会などから参加して、幌別、来馬の市街地をパレードし、採血車、ひまわり号で町民に愛の献血をよびかけました。

町の人口

9月末現在

総人口	45,001人	(195増)
男	22,810人	(98増)
女	22,191人	(97増)
世帯数	12,129世帯	(70増)
()内は先月との増減		

心配ごと相所談を

ご利用ください

- 毎月1日 登民会館
- 10日 幌別生活館 } 午後1時
- 20日 鶯別公民館

生活、医療、住宅、家事などどんな小さなことでも結構です。

11月の納税

- ◎町民税（3期分）
- ◎国民健康保険税（3期分）
- ◎個人事業税（2期分）

11月17日から12月1日までです。忘れず納期内に納めましょう。